



地域・社会との共生活動

快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、良き企業市民として、地域・社会の皆さまとの協働による共生活動を推進します。

地域社会共生活動ホームページ http://www.kyuden.co.jp/company_local-social_index

地域・社会共生活動マネジメント

地域・社会共生活動推進体制の構築

当社は、従来、幅広い分野で積極的に地域・社会との共生活動を実施していますが、これらの取組みを更に充実させていくためには、取組みの目的や姿勢を明確にし、地域・社会のニーズに応じた活動の展開を図ることが必要です。

このため、2006年4月、活動を行ううえでの指針として、「地域・社会共生活動基本方針」を制定するとともに、各部門が行う活動を総括し、部門横断的にマネジメントを行う推進体制として、「地域・社会共生活動連絡会議」を設置しました。

この体制のもと、基本方針に則した地域・社会共生活動のPDCAサイクルを確立し、更なる活動の充実に繋げていきます。

2007年度の取組みの定量目標設定

お客さま満足度調査の「九州電力の社会貢献に対する評価」のうち、次の2項目に対する一般家庭の満足度（「そう思う」と「まあそう思う」の合計値）について、2006年度実績値以上を目標とします。

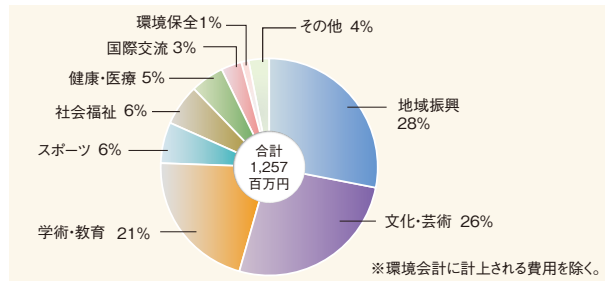
- ① 「地域経済・文化の活性化に貢献しているか」：60.0%以上
- ② 「地域の活動、行事、ボランティア活動等に積極的に協力しているか」：40.9%以上

地域・社会共生活動基本方針

九州電力は、快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、以下の原則に基づき、良き企業市民として、積極的に地域・社会共生活動を推進します。

- 1 「地域振興」「文化・芸術」「スポーツ」「学術・教育」「社会福祉」「健康・医療」「国際交流」「環境保全」の分野で、魅力ある地域づくりや次世代層の育成などを行うとともに、地域・社会の課題解決に向けた取組みを行います。
- 2 当社の持つ経営資源を有効に活用した取組みを行います。
- 3 活動内容を公表し、皆さまとコミュニケーションを図ることにより、その声を諸活動に反映させるとともに、地域・社会の皆さまとの協働を進めます。
- 4 従業員が一市民として行う共生活動を支援します。

▼地域・社会共生活動に関する支出内訳(2006年度)



地域との協働による共生活動の展開

九州各地において、文化・芸術、スポーツ、地域振興、社会福祉など様々な分野で、地域の皆さまとの協働による共生活動を展開しています。

文化・芸術への取組み

●クラシックコンサートの開催

九州における音楽文化の普及のため、九州唯一のプロオーケストラである九州交響楽団の活動を全面的に支援するとともに、九州の皆さまにプロのオーケストラに触れる機会を提供するため、同楽団によるコンサートを主催しています。

九電ふれあいコンサート

生演奏を鑑賞する機会の少ない市町村で、親子のためのクラシックコンサートを開催しています。また、全日本学生音楽コンクール福岡大会の上位入賞者との共演を実施し、才能ある若手音楽家の育成にも努めています。

九電文化の森コンサート

著名なソリストや指揮者を招いて、九州交響楽団による本格的なクラシックコンサートを九州各地で開催しています。2006年度は、過去のふれあいコンサートで共演し、その後、国際コンクールで優勝するなど活躍中のヴァイオリニスト南紫音さんにソリストとして共演いただきました。

九州交響楽団と共演して

私が初めてオーケストラと共演したのは小学校六年生の夏、九電ふれあいコンサートで九州交響楽団と共演した時です。音楽を勉強する学生にとってオーケストラと共演させていただける機会はめったになく、とても貴重です。そんな夢のような機会を与えていただいた事がとても嬉しく、大好きなメンデルスゾーンのコンチェルトを楽しく演奏した事を、今でもはっきりと覚えています。

それから約5年半が経ち、高校二年生の2月、九電文化の森コンサートに出演させていただきました。初めて共演したオーケストラ、九州交響楽団の方々と演奏し、あらためて音楽をする喜び、音楽の奥深さ、そしてなにより素晴らしさを実感しました。その音楽の素晴らしさを、今度は私達音楽家が皆様に伝えていく事が出来れば、と願っています。



ヴァイオリニスト
南 紫音 さん

● 地域のまつりへの参加

地域文化保存の一環として、また、地域の皆さまとの絆を深めるため、各事業所やグループ会社の社員が地域のまつりへの参加・運営を行っています。



「おはらまつり」への参加（鹿児島支店）

● お茶の間論文・エッセイ募集

広く多くの方々に参加できる文芸作品の募集活動を、各支店と地元新聞社との共催で実施しています。

2006年度活動実績

- ・ふれあいコンサート：8箇所、来場5,477名
(入場整理券代は地域の福祉団体等へ寄贈)
- ・文化の森コンサート：7箇所、来場9,540名
(入場整理券代は九州交響楽団へ寄贈)
- ・地域のまつりへの参加：4,054名
- ・お茶の間論文・エッセイ応募：5,613編

● 次世代層を対象とした文化活動

各支店では、高校生以下の次世代層を対象に、作文募集や絵画コンクール、音楽発表会など、地域に密着した独自の文化活動を行っています。



小学校での音楽会「ふるさと音楽便」(長崎支店)

地域振興への取組み

● 地域活性化・地場産業支援

各支店において、自治体等と協力し、より良いまちづくりに向けたシンポジウムの開催など、地域の活性化に資する活動を展開しています。

また、地域に根ざした地場産業の振興を図るため、各支店において、地域の地場産業振興センター等と協力し、物産品展などを開催しています。

● 伝統工芸産業支援

文化的にも九州の貴重な財産である各地の伝統工芸技術の維持継承と産地の振興を図るため、各地域で行われる工芸品展や工芸教室、講演会など

へ協賛、支援を行っています。

また、当社独自の取組みとして、九州に住む若手工芸家の他産地における研修プランに対して資金的支援を行う「若手工芸家国内外派遣研修制度」を設けており、これまでに44名（国外29名、国内15名）の方が国内外で研修を行っています。

▼若手工芸家研修内容(2006年度)

品目	研修先	研修内容
博多織	韓国	韓服から学ぶ色彩感覚と韓国における伝統工芸の継承について
唐津焼	タイ・ベトナム	東南アジアの伝統的な土器作りの技法習得

若手工芸家国内外派遣研修制度に思う



九州地区伝統的工芸品
産地連絡会議 会長
寺嶋 貞夫 さま

九州は大陸への玄関口、海外貿易の拠点として栄え、古くは金印にまつわる大陸との交流、戦火にさらされた蒙古襲来や戦国時代、そして豪商たちの活躍、ドラマティックな歴史に彩られ九州独自の文化が育まれてきました。

九州の豊かな自然、風土で我が国が世界に誇る数々の伝統工芸品、民芸品が生活用品として引き継がれてきました。昨今、和風住宅の情緒的な効能、日本古来の三味線や尺八等に心の「安らぎ」「ゆとり」を求める若者、「和の文化」が再認識されています。殺伐とした世相で、人々は喉の渇きを感じているのではないのでしょうか。「潤い」や「癒し」の

ある日本文化の「本物」を望む人たちが増えています。

しかしながら現在その貴重な手作り（モノ作り）の匠の技が技能を有する職人の高齢化とともにその伝承が懸念されています。

九州電力の「若手工芸家国内外派遣研修制度」は工芸にかける若者に大きな夢と希望を与える制度であります。

感性豊かな若いエネルギー、情熱で国内外で研修を重ね、日本文化、日本ブランドを世界に通ずる工芸品に飛躍させることを確信し、九州電力の地域に対する貢献、そして文化支援に感謝申し上げますとともに明日の日本に期待致します。

スポーツ振興への取り組み

● 地域のスポーツ大会への支援

地域におけるスポーツ活動の活発化及びレベルの向上を図り、明るく健康的な地域社会の形成を目指し、子どもからお年寄りの方まで幅広い層を対象とした地域のスポーツ大会を支援しています。

■ 2006年度スポーツ大会支援実績

80事業所、112大会、20種目、参加49,101名



みらいくん杯四半の大会（日南営業所）

● シンボルスポーツの取り組み

当社の「シンボルスポーツ」と位置づけるラグビー部では、地域の皆さまから愛され、応援されるチーム創りを行うとともに、各地域の少年ラグビーチーム等への指導やイベントへの参加など、ラグビーを通じた地域スポーツの活性化に取り組んでいます。



ラグビー部による少年ラグビー教室

ラグビー部ホームページ <http://www.kyuden-rugby.jp>

社会福祉への取り組み

各事業所において、地域の特性を踏まえた社会福祉への取り組みを行っています。

「お客さまありがとうございますキャンペーン」期間等を中心に、文化財や独居老人宅の配線診断・照明器具の清掃等のサービスをはじめ、社会福祉施設への慰問、聴覚障害者協会や聾学校等への字幕放送用テレビチューナー寄贈などを実施しています。

また、大分国際車いすマラソン大会の運営参加や

飯塚国際車椅子テニス大会等への協力も継続して行っています。



独居老人宅の照明器具清掃サービス（武雄営業所）

「スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・熊本」の運営支援

熊本支店では、2006年11月3日から5日まで熊本県下で開催された知的障がい者の競技会「スペシャルオリンピックス(SO)日本夏季ナショナルゲーム・熊本」の運営に対して、グループ会社と共に会場運営委員会への参加や当日の会場運営スタッフ97名の派遣などの人的支援や協賛・募金などの経済的支援を行いました。

運営スタッフとして参加して

今大会では、ボランティアマニュアル作成や研修の実施、関係箇所との協議・調整など、準備段階から大会運営全般に携わり、また、大会当日には全12会場に社員を会場責任者として配し、会場全体のとりまとめを行いました。裏方の仕事メインであり、アスリートの皆さんと直接触れ合う機会があまりなかったのが残念ですが、競技に対する真剣な眼差しや表彰台での笑顔を見ていると、様々な苦労や疲れも忘れ、この大会にスタッフの一員として参加できたことに、改めて大きな喜びを感じました。



熊本支店 総務グループ
中川 尚美

九電の皆さん、本当におつかれさまでした

今大会、九電の皆さんには、各会場の運営責任者やスタッフとして参加していただきました。準備段階や大会当日の様々な申し出への対応だけでなく、苦情処理まで全部引き受けていただくなど、大会運営の一番重要な部分を担っていただきました。また、役職を離れておひとりおひとりが一般のボランティアと同じ目線で活躍されたのは新鮮な驚きでした。九電には素晴らしい人材がたくさんいらっしゃいますね。



SO日本・熊本事務局次長
石橋 綾さま

九電産業(株)の取組み

■がん遺児奨学基金街頭募金活動

九電グループの九電産業(株)では、本業を通じた社会貢献として、がんにより家族の主たる生計維持者を亡くし、経済的な理由から進学を変更するなど、就学の機会が狭められている高校生を支援する「公益信託アフラックがん遺児奨学基金」の街頭募金活動に社員約10名が参加しています。



☐ 九電産業(株)ホームページ <http://www.kyudensangyo.co.jp/>

国際交流・国際協力の取組み

海外(10か国)の14の電気事業者と交流協定に基づき交流を深め、人材育成や技術提供を通して、途上国の持続的発展に貢献しています。

●国際交流

英国やフランス、韓国などの電気事業者とは、電力市場の自由化などについて情報交換等を実施し、中国やタイ、インドなどの電気事業者とは、当社が保有する発電・送電・配電に関する技術やノウハウの提供を通じた交流を行っています。



インド火力発電会社(NTPC)との交流協定調印式

●国際協力

途上国の電気事業の発展に寄与するため、国際協力機構(JICA)や海外電力調査会を通じ、アジア諸国を中心に、研修生の受入や専門家の派遣などを実施しています。

北九州エル・エヌ・ジー(株)の取組み

■インドネシア・ボンタン基地での緑化運動

九電グループの北九州エル・エヌ・ジー(株)では、LNGの調達先であるインドネシアにおいて、サプライチェーンでのCSRの観点から、国際貢献活動を行っています。

2006年度は、同国ボンタン基地への研修派遣にあわせて、社員3名が基地周辺の植樹を実施するとともに、同基地周辺の緑化促進費用として、1,000USドルを寄付しました。

また、2006年5月に発生した同国ジャワ島中部地震への人道支援として、会社と社員が合同で義捐金を贈りました。



☐ <北九州エル・エヌ・ジー(株)ホームページ>
<http://www.k-lng.co.jp/>

NPOロシナンテスへの支援

北アフリカのスーダン共和国は、長年に及んだ内戦や経済制裁により、今も多くの国民は疲弊し貧困で苦しんでいます。

スーダンでの巡回医療やスーダン医師の日本招聘などの活動を行っている「NPO法人ロシナンテス」は、北九州市出身の川原尚行医師が、在スーダン日本大使館に勤務していた時に、スーダンの現状を見て、一医師として何かできないかと外務省を辞め、スーダンで取得した医師免許のもと医療活動を始めたのがきっかけでした。

スーダンは、当社が調達する原油の49%を占める主要な原油調達先であり、当社はサプライチェーンでのCSRの観点から、ロシナンテスの活動を支援しています。



☐ <NPOロシナンテスホームページ>
<http://www.rocinantes.org>

地域環境保全への取組み

各事業所において、地域の清掃活動などを通して、地域の皆さまが快適に過ごせる環境づくりに取り組んでいます。

主な活動として、6月の環境月間や10月の「お客さまありがとうございますキャンペーン」期間を中心に、河川敷や海岸、史跡などの清掃を経営幹部と従業員が一体となって実施しています。



社長も参加した「櫛田神社清掃」(福岡支店)

(株)キューヘンの取組み

■福津市津屋崎干潟の環境保全活動

カブトガニの産卵場所やクロツラヘラサギなどの渡り鳥が飛来している福岡県福津市の津屋崎干潟は、違法投棄や回遊ゴミが集まり、その生息環境が著しく悪化しています。同市に本社を置く九電グループの(株)キューヘンでは、地域の環境保全に貢献するため、市役所が募集する清掃ボランティアに社員約20名が参加して、干潟の清掃活動を行っています。



☐ <(株)キューヘンホームページ>
<http://www.kyuhen.co.jp/>

地域社会が抱える課題解決に向けた取り組み

● 地域防犯活動への協力

地域に密着した事業形態を活かし、地域の皆さまや企業、警察と協力し、地域パトロールや子どもが犯罪に巻き込まれない環境づくり等の地域防犯活動を各地で実施しています。



社用車(電気自動車)での「子ども110番」活動(鹿児島支店)

● 不法投棄パトロールへの協力

パトロール中などに廃棄物の不法投棄を発見した際、自治体へ情報提供を行う「廃棄物の不法投棄対策に関する協定」を、24事業所で、延べ66の地元自治体と締結し、実践しています。



社用車にステッカーを貼り不法投棄を抑止(長崎営業所)

従業員が行う共生活動への支援

従業員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう、ボランティア休暇制度や費用補助、情報提供、啓発活動など、環境づくりと支援を行っています。

● ボランティア休暇制度

従業員は、年間7日(ドナーは必要日数)を限度に年次有給休暇とは別にボランティア休暇を取得することができます。(半日単位取得可)

▼ボランティア休暇の取得実績 (日)

2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
345	283.5	261.5	296.5	246

● 青年海外協力隊参加者への休職の取扱いの充実

青年海外協力隊への参加者を積極的に支援するため、2007年4月から、休職の対象となる活動内容について制限を撤廃し、すべての募集職種を対象とするように支援の充実を図りました。

● 地域社会貢献者表彰制度

長年にわたり地道に地域社会への貢献活動を行っている従業員を表彰しています。

▼地域社会貢献者表彰実績 (人)

2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
27	41	21	25	32

● 資格取得に対する支援

身障者老人福祉、スポーツ指導、保健・衛生、余暇活用の4分野で17資格を対象に受験料や受講料、交通費実費を支給し、従業員の資格取得を支援しています。

▼資格取得に対する支援実績 (人)

2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
19	35	30	40	36

● ボランティア啓発活動

従業員のボランティア活動に対する意識高揚を目的として、事業所単位でボランティア体験発表会やセミナーの開催、福祉施設の訪問など各種啓発活動を行っています。